

しゅんせつ近く再開

10^カ月 ぶり 水俣港の改修工事

漁期にはいったため中止されていた水俣港の改修工事が近く十カ月ぶりに再開され、しゅんせつ工事が始められる。

本年度のしゅんせつ区域は内港浮き棧橋先端付近、外港第一岸壁に沿った航路、泊地および第二岸壁予定地付近の五万三千平方尺。

しゅんせつの泥土は五万五千三百五十立方尺、工費二千百六十万円。

浮き棧橋先端付近の海面はこのほど従来の棧橋の先に浮き棧橋が取り付けられ、長さが二倍以上になり、船の入港が危険となったため、長さ百尺、幅三十尺の三千平

方尺にわたって深さ一尺がしゅんせつされる。

第一岸壁に沿った航路、泊地は昨年しゅんせつした地域だが、その後浅くなったので五千ト岸壁の最低の基準水深六・五尺にするよ

予定地の一部造成地に工事中の通産省出水アルコール工場の糖みつタンクが二月末には完成、三月から操業するので糖みつを積んだ外国貿易船（三千ト級）が接岸できるよう工事を急ぐことになっている。

第二岸壁予定地の四万平方尺のしゅんせつは、新年度から蓄工が予定されている岸壁工事（長さ百十尺）の準備で、しゅんせつされた泥土はいずれも土地造成を進めている三年ガ浦坂口川河口の埋め立て（一万六千五百平方尺）に当てられる。